

## 水象の予測・評価結果の概要の記載の修正案 \* 第1回審議の資料1のp.41に下線部を加筆

## 6.1 予測・評価結果の概要

		予測結果																										
6 水 象	<b>【工事中、存在・供用時】</b>																											
	<b>(1) 河川流量、地下水位への影響</b>																											
	予測地点である計画地下流側の香坂川（No.Ⅱ）における流域面積と計画地面積及びその割合を下表に示す。																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">予測地点</th> <th style="width: 25%;">流域面積</th> <th style="width: 25%;">計画地面積</th> <th style="width: 25%;">計画地面積の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画地下流側の香坂川</td> <td style="text-align: center;">1,043.1ha</td> <td style="text-align: center;">54.01ha</td> <td style="text-align: center;">約5%</td> </tr> </tbody> </table>				予測地点	流域面積	計画地面積	計画地面積の割合	計画地下流側の香坂川	1,043.1ha	54.01ha	約5%																
	予測地点	流域面積	計画地面積	計画地面積の割合																								
	計画地下流側の香坂川	1,043.1ha	54.01ha	約5%																								
	<p>河川への地下水流出の形態は、河川流域内でほぼ一様であると仮定すると、現況の予測地点の流域での計画地の寄与は約5%と考えられる。</p> <p>事業に伴う影響は、伐採工事に伴い山林から徐々に裸地または草地に移行するため、現状の水収支は下表に示すように、蒸発散量が減少し、流出量等が増加すると考えられるが、<u>長期的観点から基底流量（降水の少ない時期の河川流量÷地下水流出量）に着目すると、草地化等する場合、流出量のうち雨水の表面流出量が増加し、地下への流出量（浸透量）が減少する可能性がある。</u>このため、仮に計画地での地下水浸透（涵養）が図られない場合、香坂川下流側のNo.Ⅱにおける計画地からの地下水流出量も最大で5%近く減少するおそれがある。</p>																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">植被タイプ</th> <th style="width: 20%;">降水量 <math>P</math> (mm/年)</th> <th style="width: 20%;">蒸発散量 <math>Et</math> (mm/年)</th> <th style="width: 30%;">流出量 <math>R+</math> 地中での流出量 <math>i</math> (mm/年) (<math>P-Et</math>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状</td> <td>森林</td> <td style="text-align: center;">概ね1,000</td> <td style="text-align: center;">概ね600</td> <td style="text-align: center;">概ね400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事中</td> <td>裸地</td> <td style="text-align: center;">概ね1,000</td> <td style="text-align: center;">概ね300</td> <td style="text-align: center;">概ね700</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td style="text-align: center;">概ね1,000</td> <td style="text-align: center;">概ね400</td> <td style="text-align: center;">概ね600</td> </tr> <tr> <td>供用時</td> <td>草地</td> <td style="text-align: center;">概ね1,000</td> <td style="text-align: center;">概ね400</td> <td style="text-align: center;">概ね600</td> </tr> </tbody> </table>				区分	植被タイプ	降水量 $P$ (mm/年)	蒸発散量 $Et$ (mm/年)	流出量 $R+$ 地中での流出量 $i$ (mm/年) ( $P-Et$ )	現状	森林	概ね1,000	概ね600	概ね400	工事中	裸地	概ね1,000	概ね300	概ね700	草地	概ね1,000	概ね400	概ね600	供用時	草地	概ね1,000	概ね400	概ね600
	区分	植被タイプ	降水量 $P$ (mm/年)	蒸発散量 $Et$ (mm/年)	流出量 $R+$ 地中での流出量 $i$ (mm/年) ( $P-Et$ )																							
	現状	森林	概ね1,000	概ね600	概ね400																							
工事中	裸地	概ね1,000	概ね300	概ね700																								
	草地	概ね1,000	概ね400	概ね600																								
供用時	草地	概ね1,000	概ね400	概ね600																								
<p>ただし、本事業では、切盛工事により集水域境界を改変しないこと、大部分は草地等による浸透面となり非浸透面に比べれば地下浸透が期待できること、造成上の配慮等により雨水浸透を極力促進することから、予測地点での計画地からの地下水流出量を含む河川流量が大きく減少することはないと予測する。</p>																												
<b>(2) 利水及び水面利用等への影響</b>																												
<b>① 水道水源（湧水、深井戸水）</b>																												
本事業では、湧水水源の取水地点及び集水域を改変するものではないことから影響はないと予測する。また、深井戸水源の香坂層中の採水地点に対し直接的に影響を及ぼすものではないことから、本事業による当該採水地点の地下水位への影響は極めて小さいと予測する。																												
<b>② 計画地近傍の集落内の既存井戸</b>																												
計画地と集落の位置関係や地形の状況を踏まえると、計画地から集落の方向に向かう流動量は少ないと考えられ、本事業による既存井戸の地下水位への影響は小さいと予測する。																												
<b>③ 水面利用等（漁業等利用）</b>																												
「(1)河川流量、地下水位への影響」に示したとおり、予測地点である香坂川（No.Ⅱ）において、計画地からの地下水流出量を含む河川流量が大きく減少することはないと予測するため、本事業による香坂川での漁業等利用に対する影響は小さいと予測する。																												